

【別紙】 令和 8 年度さいたま市版 SOIP 事業 スポーツパートナー及び共創テーマ等詳細（一覧）

1. スポーツパートナー及び共創テーマ一覧

A	名称	埼玉西武ライオンズ
	共創テーマ①	国内トップレベルのスポーツクラブと取り組む、子どもの居場所や地域コミュニティの創出
	共創テーマ②	日常的にボールスポーツが楽しめる、新しいスポーツ空間・環境の創出
B	名称	さいたまディレーブ
	共創テーマ①	「自転車のまち さいたま」として市の魅力向上と自転車文化を広める取組
	共創テーマ②	安全で環境にやさしいサイクルライフ推進
C	名称	インスピリッツテニスクラブ
	共創テーマ①	持続可能な新しい部活・地域クラブモデルや地域の指導者育成モデルの構築
	共創テーマ②	顔が見えるコミュニティをつくるスポーツ共創
D	名称	plus N / ユニット
	共創テーマ①	多様なスポーツを通じ家族で気軽に挑戦・成長できる環境の創出
	共創テーマ②	スポーツ以外の目的を入口に個々の挑戦を支える身体活動市場の創出
E	名称	スポーツクラブ & サウナスパ ルネサンス浦和 2 4 / スポーツクラブ & サウナスパ ルネサンス浦和駅前 2 4
	共創テーマ①	多世代共創型「運動×防災コミュニティ・ラボ」プロジェクト
	共創テーマ②	地域包括型「メディカル×フィットネス・ラボ」プロジェクト
	共創テーマ③	都市生活型「働く世代×スポーツウェルネス・ラボ」プロジェクト

2. スポーツパートナー及び共創テーマ等の詳細

各スポーツパートナー（A～E）や共創テーマ等の詳細な情報は、次ページ以降に個別で紹介いたします。



©SEIBU Lions

紹介・実績

- ・埼玉県を本拠地とする日本野球機構（NPB）の球団。
- ・本拠地ベルーナドームでの年間動員数：約173万人（1試合平均24,395人 / 年間約70試合）。
- ・公式SNS(X) フォロワー数：約55万人。

背景・課題

- ・未就学児～小学校低学年の子どもを持つ家庭との接点が十分に創出できておらず、将来的なファン層の形成に課題がある。
- ・ライオンズが保有するブランド力・集客力・アカデミーコーチ・スポーツプログラムなどのアセットを、地域課題解決や新たな事業機会に十分つなげきれていない。
- ・「ライオンズが来る」という集客力はある一方で、それを単発イベントにとどめず、継続的な地域接点や収益化モデルに発展させる仕組みが必要。

活用可能なアセット

- ・地域でのスポーツイベント運営のノウハウや参加促進力
- ・少年野球大会等の野球プログラムやピンクリボン活動などの社会貢献活動における子ども・保護者を中心とした地域住民やファンとの接点
- ・アカデミーコーチやインストラクターの野球・スポーツ指導ノウハウ

関連URL

- ・埼玉西武ライオンズ（オフィシャルサイト）：
<https://www.seibulions.jp/>
- ・L-FRIENDSの活動紹介（(株)西武ライオンズコーポレートサイト）：
<https://www.seibulions.co.jp/lfriends/>

共創テーマ①

国内トップレベルのスポーツクラブと取り組む、子どもの居場所や地域コミュニティの創出

地域のつながり希薄化や子どもの居場所不足に対し、ライオンズのブランド力や「L-FRIENDS」を活用し、子育て世代が集える場を創出する。入口はスポーツに限定せず、食・学び・環境など多様な接点を用意。これらを起点に、子育て支援や防災、地域交流等の課題を横断的に解決するモデルを構築する。

想定するターゲット(例)

- ・放課後の子どもの居場所を必要とする共働き家庭
- ・自治会・町内会活動に参加しづらい若い世代

具体的な取組イメージ(例)

- ・子どもが放課後や休日に参加できるスポーツ型の居場所づくり
- ・スポーツの楽しさをフックにした参加型防災プログラム
- ・スポーツに加え、食・学び・環境など複数の入口を設ける

期待する成果・効果

- ・子どもや子育て世代が安心して集まれる、新たな地域コミュニティの場を創出する。
- ・スポーツや多様な入口を通じて、経験を問わず幅広い層の地域交流・地域参加を促進する

共創テーマ②

日常的にボールスポーツが楽しめる、新しいスポーツ空間・環境の創出

公園でボール遊びや野球が禁止されているケースが多い中で、子どもが安全にボールスポーツを楽しめる場所の不足が課題となっている。未活用スペースなど、街中のあらゆる場所を移動型・仮設型のスポーツ空間に変えて、持続可能な地域の新しいスポーツモデルを構築する。

想定するターゲット(例)

- ・思い切りボール遊びや野球をしたい子どもたち
- ・子どもに安全な運動機会を提供したい保護者
- ・未活用スペースを有効活用したい事業者・自治体

具体的な取組イメージ(例)

- ・民間の空きスペースを活用した「移動型ライオンズパーク」の展開
- ・既存商業施設への「スポーツ体験機能」の実装

期待する成果・効果

- ・地域にボール遊び・野球・マルチスポーツを楽しめる機会・環境を生み出し、子どもたちの体力向上に寄与する。
- ・地域の未活用スペースに新たな価値を創出する
- ・DX技術などを組み合わせ、スポーツビジネスの新たな収益モデルや顧客接点を検証する。

B

さいたまディレーブ



紹介・実績

- ・2019年設立。さいたま市を拠点にJプロツアーに参戦する地域密着型の自転車ロードレースチーム。
- ・自転車交通安全教室（累計30,000名以上）と子ども向け自転車乗り方教室（累計2,000名以上）を運営。
- ・競技活動と地域貢献活動を両輪に、学校・行政・地域イベント等と連携した活動を展開。

背景・課題

- ・さいたま市は「自転車のまち」としての土壌がある一方で、チームの認知度はまだ十分とは言えず、市民にとって「応援したい」「誇りに思える」存在となるための接点づくりが必要。
- ・道路交通法改正など自転車を取り巻くルールの変化がある中で、交通ルール理解や安全意識の向上が地域課題となっている。
- ・日常利用、通勤・通学、健康づくり、環境負荷低減など、自転車の価値をより広く発信していく必要がある。

活用可能なアセット

- ・イベントやレース会場における特設PRスペース、ロードバイクの試乗・体験機会、および所属選手の出演・講師派遣を通じたリアルな顧客体験の提供。
- ・サイクルスポーツ・競技に関する専門性と知見
- ・自転車安全教室や子ども向け自転車乗り方教室の運営ノウハウ

関連URL

- ・ホームページ：<https://sunbrave.jp/saitamadreve/>
- ・Instagram：https://www.instagram.com/saitamadreve_official/

共創テーマ①

「自転車のまち さいたま」として市の魅力向上と自転車文化を広める取組

「住みやすいまち」として評価されるさいたま市の魅力の更なる向上や、サイクルスポーツを通じた健康増進や自転車文化の浸透に取り組みます。市民が主体的に楽しむスポーツ文化の醸成と「自転車のまち」としての価値向上を図ります。

想定するターゲット(例)

- ・健康意識が高まっているが、本格的なスポーツはハードルが高いと感じている層
- ・自転車を保有しているがスポーツとしての魅力はまだ知らないさいたま市民
- ・地元の隠れた魅力を再発見したい地域住民

具体的な取組イメージ(例)

- ・「自転車ならではの体験」をコンテンツ化するスポット周遊型の観光モデル
- ・市民がアンバサダーとなるサイクルスポーツの魅力発信コミュニティ

期待する成果・効果

- ・自転車を通じたさいたま市の魅力の発見と発信
- ・さいたま市における自転車ロードレースの価値向上
- ・便利な新しい自転車利用の促進

共創テーマ②

安全で環境にやさしいサイクルライフ推進

安全かつ環境にやさしい自転車を誰もが安心して利用できる街を目指します。青切符等の新制度導入に合わせ、市民の乗り方のギャップを解消する仕組みを検討。正しいマナーの定着を通じて事故を防ぐとともに、エコな移動手段である自転車の価値を再認識させ、環境に配慮したサイクルライフを推進します。

想定するターゲット(例)

- ・自転車通勤・通学を行う会社員・学生
- ・カーボンニュートラルを推進する企業

具体的な取組イメージ(例)

- ・交通安全教室と連動した自転車安全デジタルマップの作成
- ・市民の声を反映した次世代ヘルメットの開発

期待する成果・効果

- ・青切符導入に関連した自転車の安全な乗り方の普及
- ・安全かつエコな移動手段としての自転車の日常利用の促進



インスピリッツテニスクラブ



紹介・実績

- ・年間に約5,000の大会やイベントを開催し、約22,000人の会員(無料)がいる、テニスコートを有効に活用できるテニスクラブ。
- ・テニススクールやプロテニスプレーヤーとのイベントを多数開催。
- ・プロテニスプレーヤーを学校に派遣し、「夢を叶える授業」を開催。

背景・課題

- ・テニス運営で培ったノウハウや2万人超のコミュニティ資産を、テニスの枠を超えた社会課題解決や異業種との新たな市場創出へ広く実装・還元する必要性を感じている。
- ・従来のテニススクールや大会形式だけではアプローチできていない層に対し、「ビックルボール」等の新競技などを活用し、新しい体験価値を提供したい。

活用可能なアセット

- ・年間約5,000のイベントとリアルな参加者との接点
- ・効率的かつ満足度の高いイベント運営のノウハウやレッスンでの指導ノウハウ
- ・テニスの国内プロリーグ（PTL）の立ち上げに関連した取り組み

関連URL

- ・インスピリッツテニスクラブ（ホームページ）：<https://www.inspirits-tennis-club.com/>
- ・プロテニスリーグ（公式サイト）：<https://ptl.or.jp/>

共創テーマ①

持続可能な新しい部活・地域クラブモデルや地域の指導者育成モデルの構築

指導者不足など地域部活動の課題に対し、持続可能な「新しい部活・地域クラブの形」を構築する。プロの指導ノウハウや資源を地域へ還元・融合させることで、子どもたちが質の高い指導のもと、主体的にスポーツを継続して楽しめる次世代の環境を創出する。

想定するターゲット(例)

- ・指導者不足に直面する地域のクラブや部活動
- ・スポーツを通じた教育事業を検討中の企業

具体的な取組イメージ(例)

- ・大学をプラットフォームとした地域のクラブ間のコミュニティ組成
- ・プロ選手派遣による巡回型・定額指導サービスの構築

期待する成果・効果

- ・地域における指導者育成
- ・部活動等の地域スポーツの活性化

共創テーマ②

顔が見えるコミュニティをつくるスポーツ共創

地域の未活用スペースを、生涯スポーツであるテニスや全米で人気の「ビックルボール」を多世代が楽しむ新たな空間へと変革する。人と人が直接繋がるコミュニティの活性化を図ることで、顔が見える関係性と持続可能な地域の交流拠点を共創する。

想定するターゲット(例)

- ・本格的にスポーツを楽しみつつ仲間づくりも求めるアクティブシニア層
- ・遊休地や未活用スペースの有効活用・収益化を目指す施設運営者

具体的な取組イメージ(例)

- ・多世代混成ビックルボール体験会の定例開催
- ・「健康チェック×スポーツ」のコミュニティ型イベントの開催

期待する成果・効果

- ・社会的孤立の解消
- ・施設の「ウェルビーイング拠点」としての社会インフラ化



plus N / ユニット



紹介・実績

plusN :

- ・公認スポーツ栄養士・管理栄養士として、ジュニアアスリートから大学・社会人・プロ選手まで幅広い競技者への栄養サポートを実施
- ・埼玉県スポーツ協会プラチナアスリート支援事業、さいたまマラソン、消防・建設業向け健康支援など、スポーツの知見を幅広い領域へ展開

ユニット :

- ・国際的なトレーニング資格「SCSC,D」を有するフィジカルパフォーマンスコンサルタント
- ・オリンピック (夏4大会、冬1大会) をはじめとする国際大会関連活動実績
- ・大学・高校等での20年以上の教育活動、指導者向け講習会の講師およびトレーニング施設監修実績

背景・課題

- ・トップスポーツ現場の高度な栄養・フィジカルの科学的知見を一般生活者の自己実現や子どもの成長のために社会へ広く普及・展開していきたい。
- ・従来の運動サービスは健康維持の目的に偏っており、「何かを達成したい・挑戦したい」という前向きな感情から身体活動へ繋げる仕組みが不足している。
- ・スポーツが持つ楽しさ・挑戦・成長を促す力と、企業が持つ商品・技術・サービスを掛け合わせ、一人ひとりの目的達成を支える新たな価値創出

活用可能なアセット

plusN :

- ・食習慣や身体状態など栄養状態を評価・可視化し食品・ヘルスケア・ITサービス等と連携し、利用者の行動変化を促す仕組みづくりが可能。
- ・家庭・教育・企業など様々な場面や生活環境に合わせた食の活用モデルを構築可能。

ユニット :

- ・トップスポーツ現場で培った知見を活用し、対象者の身体状態や目標達成に必要な要素を可視化する仕組みを提供。
- ・競技現場で用いる「目標 → 評価 → 計画 → 実行 → 改善」のプロセスを応用した、目的を達成するための身体づくりの設計力

関連URL

- ・plus N (ホームページ) : <https://plus-nutrition.jp>
- ・ユニット (ホームページ) : <https://www.team-unit.com>

共創テーマ①

多様なスポーツを通じ家族で気軽に挑戦・成長できる環境の創出

遊びや生活様式の変化により、子どもがスポーツにたどり着くまでの身体活動や挑戦の機会が減る一方、保護者も自らスポーツを楽しむ機会が減少している。企業の技術やサービスとスポーツ現場の知見を掛け合わせ、専門的指導の提供ではなく、家族単位で誰もが気軽にスポーツに触れ、挑戦や成長を楽しめる新しい参加環境を共創する。

想定するターゲット(例)

- ・様々なスポーツや身体活動を経験し、自分の興味や可能性を広げたい子どもとその家族
- ・子どもと一緒にスポーツへ参加し、挑戦や成長を楽しみたい保護者

具体的な取組イメージ(例)

- ・最高速度チャレンジやジャンプチャレンジなど、スポーツの様々な要素を気軽に体験し、自分の可能性を発見できるチャレンジコンテンツ
- ・遊びながら身体作りを促進する、ゲーミフィケーション活用の「スマート運動空間」の創出
- ・家族の運動時間やスポーツイベントへの参加をポイント化し、日常生活の中で家族が楽しみながら身体を動かせる仕組みの構築

期待する成果・効果

- ・多様なスポーツ体験や計測を通じて、自分でも気づいていなかった身体の特徴や可能性を発見し、新たな挑戦につながる機会を創出する。
- ・子どもの活動時間を保護者自身も身体を動かす時間として活用し、家族それぞれが目的に合わせて身体づくりや新たな挑戦に取り組める仕組みを構築する。
- ・スポーツを先に選ぶ従来の形だけではなく、様々な動きや挑戦を通じて自分の興味や特徴を知り、新たなスポーツとの出会いにつながる仕組みを創出する。

共創テーマ②

スポーツ以外の目的を入口に個々の挑戦を支える身体活動市場の創出

「目標を設定し、現在地を把握し、達成に向けて行動を積み重ねる」スポーツのプロセスを枠を超えて展開し、一人ひとりの「やってみたい」の思いの実現へ繋げる。企業の商品や技術・サービスと、身体づくり・栄養・コンディショニングの知見を掛け合わせることで、目的達成に向けた挑戦を支える新たなサービスを共創する。

想定するターゲット(例)

- ・心の中にある「やってみたい」という想いを、具体的な挑戦へ変換していきたい人
- ・自分が目指す姿やありたい状態に向けて、新しい一歩を踏み出したい人

具体的な取組イメージ(例)

- ・アクティブな観光ツアーへの挑戦を目標に、身体作りサポートからの旅行パッケージ
- ・助け合える身体を日頃から備える地域の防災拠点でのトレーニングプログラム
- ・推し活やライブ参加を目標にした、目的達成型コンディショニングサービスの構築

期待する成果・効果

- ・健康や運動そのものを目的とするのではなく、自分の目指す姿を実現するために自然と身体活動が生活に組み込まれる社会を創出する。
- ・企業が持つ商品・サービス・体験を単なる提供で終わらず、人の挑戦や目的達成を支える新たな価値へ発展させる。
- ・スポーツ現場で培われた目標達成プロセスを社会へ展開し、目的達成までの過程そのものを支える新しい市場を創出する。



紹介・実績

- ・さいたま市内の2店舗（浦和24、浦和駅前24）で、約1万人の幅広い年代の会員基盤を持つ総合スポーツクラブ
- ・「生きがい創造企業」として、フィットネス・スイミング・テニス指導のほか、介護予防教室や学校での水泳指導など、地域に根差した健康増進の豊富な実績
- ・管理栄養士、がん専門運動指導士や防災関連プログラムの指導員、プロサッカー選手など、専門性の高い有資格者が在籍

背景・課題

- ・「運動習慣化30%の壁」や「平均寿命と健康寿命の乖離」の解消に向けて、スポーツに馴染みの薄い「高齢者層」や、健康投資の優先度が下がっている「働き盛り世代」へのアプローチの必要性を感じている。
- ・スポーツに馴染みの薄い「高齢者層」や、健康投資の優先度が下がっている「働き盛り世代」へのアプローチの拡大のため、異業種の多様な顧客接点やテクノロジーとの「共創」により、スポーツクラブの枠組みを超えた新たな健康増進モデルの創出を目指している。

活用可能なアセット

- ・拠点・施設：浦和駅前および北浦和エリアの2店舗（広大なフィットネスエリア、プール、テニスコート、ゴルフレンジ、コワーキングスペース、本格的なサウナ・スパ施設）
- ・人材・ノウハウ：専門指導員、健康運動指導士、管理栄養士、がん専門運動指導士、プロサッカー選手（Weリーグ選手）および健康リテラシー改善にかかわるノウハウ、地元のプロスポーツチーム（浦和レッズ）とのパートナーシップによる地域を巻き込んだマーケティングやイベントノウハウ等
- ・顧客・データ：ベビー（生後6か月）から高齢者までの幅広い世代と会員の運動習慣データ（来館回数や時間などの情報）

関連URL

- ・ルネサンス浦和24（ホームページ）：<https://www.s-re.jp/urawa/>
- ・ルネサンス浦和駅前24（ホームページ）：<https://www.sportsoasis.co.jp/sh56/>

共創テーマ①

多世代共創型「運動×防災コミュニティ・ラボ」プロジェクト

「地域コミュニティの希薄化」や「高齢者の孤立」に対し、防災をきっかけとした多世代交流を創出。災害時に助け合える関係を日常の運動コミュニティから醸成し、「顔の見える防災」という新しい地域モデルを構築します。

想定するターゲット(例)

- ・地域の結びつきを求めている子育てファミリー世代
- ・近所付き合いが減り、もしもの時に不安を感じるシニア層

具体的な取組イメージ(例)

- ・災害時に動ける身体づくりと、多世代が自然に交流するコミュニティを創出する「防災×交流」プログラム
- ・運動データから災害時の避難スピードを可視化する「アプリ運動型『避難力』診断サービス」
- ・見守り等のデジタル技術を「仲間とのつながり」ツールとして導入する「デジタル×共助」の仕組み作り

期待する成果・効果

- ・共助の基盤となる地域での「顔の見える」関係性の構築
- ・防災意識の日常化と民間施設を活用した地域防災インフラの強化
- ・多世代共生によるウェルビーイングの向上

共創テーマ②

地域包括型「メディカル×フィットネス・ラボ」プロジェクト

病後や身体の不調などを抱え運動参加へハードルを感じている方々が、安心して運動に取り組める環境を整備。メディカルな知見やプロダクトと、専門的なスポーツ・運動指導を融合させ、医療と地域社会をつなぐ「ヘルスケアの社会実装モデル」を構築します。

想定するターゲット(例)

- ・治療前後の健康維持を求めるがんサバイバーとサポートをしたい家族
- ・不定愁訴を抱え医師より運動を勧められているシニア層

具体的な取組イメージ(例)

- ・リアルタイムなバイタルを基に、最適な運動強度やメニューへ適応するパーソナライズ指導
- ・がん専門運動指導士の知見のデジタル化による個別処方プログラムの提供

期待する成果・効果

- ・身体的な不安があっても安心できる運動モデル確立とエビデンスの蓄積
- ・身体的な不安のあった層の運動の習慣化

↓（共創テーマ③へ続きます）↓

共創テーマ③

都市生活型「働く世代×スポーツウェルネス・ラボ」プロジェクト

「働く世代」の心身の再生と「次世代」の学び・運動機会を同一拠点で創出します。スポーツを軸に異業種の知見を融合し、効率と体験価値を両立した「コミュニティ・ハブ」を構築。子供の成長と大人の活力を地域全体で支え、既存の枠組みに捉われない持続可能な育成環境を実現する、新しい都市生活の形を提示します。

想定するターゲット(例)

- ・仕事や育児に追われ、リフレッシュの時間が取れない働き世代
- ・学校や塾以外の「学び」や「運動」の場を探しているジュニア・ユース世代

具体的な取組イメージ(例)

- ・最新技術や戦略思考を融合し、スポーツを『知的な探究』へと昇華させる次世代型教育
- ・子供の運動・学びと親のリフレッシュを同一拠点で完結させ、家族の時間効率を最大化するモデル
- ・サウナを通じた親子対話や創作体験を通じた世代間交流イベント

期待する成果・効果

- ・多世代が多様な目的でスポーツを体験できる機会の創出
- ・次世代の健全な育成を支える「持続可能な地域スポーツ環境」の確立
- ・多世代が日常的に交わる「サードプレイス」を通じた、地域コミュニティの活性化と孤立の防止